ご飯を待ちながら　高校生version

伊藤貴晴　作

【登場人物】

男１ 高校生

女１ 高校生

女２ 高校生

女３ 高校生

 男１の部屋。こたつの上に炊飯器。男１と女１が向かい合ってこたつに座り、紙に何か書き込んでいる。

女１ 安藤５、石井５、上田５、遠藤５、大野５、加藤５、木村５、久保田５、ケルンバウアー２、小池８

男１ 小池８？

女１ 小池８

男１ そんなに食べられる？

女１ 食べられるんじゃない？

男１ ハンバーガー８個って結構きついよな

女１ まあね

男１ で、ケルンバウアー２？

女１ そう。２

男１ ドイツ人なのに？

女１ 国籍関係ないでしょ

男１ ２個しか食べないの？

女１ あんまり好きじゃないんだって。日本のハンバーガー

男１ ドイツのハンバーガーってどんなの？

女１ 同じでしょ

男１ 同じか

女１ それで小池が代わりに食べるって

男１ それで８？

女１ そう

男１ 小池、女だよ

女１ そうだよ

男１ で、ケルンバウアーが２？

女１ そう

男１ 男のくせに

女１ 性別関係ないでしょ

男１ それはあるでしょ

女１ 続きいくよ。佐藤５、下村５、鈴木５、セバスチャン１５

男１ １５？

女１ １５

男１ へえ

女１ さすがセバスチャン

男１ イギリス人だっけ

女１ うん。顔は日本人だけど

男１ ていうか名前以外全部日本人だよね

女１ 英語が苦手だって言ってたよ

男１ イギリス人なのに？

女１ 国籍関係ないでしょ

男１ あるよ

女１ よし、これで８０。残りは私達が５個ずつ食べれば１００

男１ 完璧

女１ クラスメイトに感謝

 女２、登場。

女２ やっほ

女１ おう

男１ ノックしろよ

女２ いいじゃん別に

男１ 勝手に入って来るな

女２ 嫌なら鍵掛けなさいよ

女１ それは困る

男１ お前には聞いてない

女１ 聞いてよ

男１ 何でだよ

女２ どうでもいいじゃんこんなの

女１ こんなのって何よ

男１ この部屋、鍵なんかついてないし

女１ 私がいつでも入れるように

女２ お、怪しい発言

女１ 男１はね、私の下僕なの

男１ 違うぞ

女１ マンガ読ませてもらうんだ

男１ お前、昔から俺の家、勝手に入ってくるよな

女１ 隣だからね

男１ 親も気にしないもんな

女１ ほぼ自分の家だよね

女２ 幼馴染だね

女１ だから女２も勝手に入っていいよ

女２ 分かった

男１ よくねえよ

女１ どうして？

男１ プライバシーがあるだろ

女１ ないよ

男１ ないのか

女２ 今日はカレー？

女１ うん、私が死ぬほどうまいの作ってあげる

男１ そのまま死ねばいいのに

女２ カレーなんか誰が作ったって一緒でしょ

女１ 今日のカレーは一味違うぜ

女２ 火、大丈夫？

女１ おっと

 女１、退場。

女２ 女３は？

男１ もうすぐ来るんじゃない？

女２ 何でみんなここに来るの？

男１ 近いからじゃない？

女２ 女１の家は隣でしょ

男１ だったらそっちに行けよ。女２だって来てるだろ

女２ そうなんだけど。何でこんなとこに炊飯器置いてんの？

男１ あのバカが置いた

　女１ 今、私のことバカって言ったでしょ

女２ 邪魔じゃない？

男１ 邪魔

女２ どかしたら？

男１ 怒るんだよ

女２ 女１が？

男１ うん

女２ 何で？

男１ 炊けるのが待ち遠しいんだって

女２ バカじゃないの？

女１ バカって言うな

女２ その紙、何？

男１ ああ、これは

 女１、登場。

女１ ハンバーガー百個計画

男１ あ、俺が言おうとしたのに

女１ 発案したのは私です

男１ そうだけどさ

女２ 何それ？

男１ マックに行って、ハンバーガー百個頼むんだよ

女２ それでどうすんの？

女１ それだけ

女２ バカじゃない？

女１ バカって言うな

男１ 賛同者募ってるんだよ。ほら（紙を見せる）

女２ はぁ、なるほど

女１ 女２と女３で５個ずつお願い

女２ 私もやるの？

女１ 当たり前でしょ

女２ 女３、そんなに食べられる？

女１ 食べられなかったら男１が食べるよ

男１ マジか

女２ ねぇ

女１ ん？

女２ ハンバーガー百個頼んで何がしたいの？

女１ こうやって何気ない顔で店に行ってさ

男１ いらっしゃいませ。ご注文は何になさいますか？

女１ ハンバーガー百個下さい

男１ ……少々お待ち下さい

女１ こういう反応見たくない？

女２ バカじゃない？

女１ バカって言うな

 女３、登場。コンビニの袋を持っている。

女３ カレーできた？

女１ まだ

女２ やっほ

女３ やっほ

男１ ノックしろよ

女３ 気にしない気にしない

女１ よし、鍋見てくる

 女１、退場。

女３ 寒いねー

男１ 一気に冬だな

女２ 例年にない寒さだって

男１ 何か毎年そんなこと言ってないか？

女３ 雪降るかな？

女２ まだ降らないんじゃない？

女３ 雪降らないかなー

男１ 雪ねぇ

　女１ ねえ、これもういいかな？

男１ どれ？

 男１、退場。

女３ そだ、アイス食べる？

　女１ 食べる

女２ 何でこの寒いのにアイスなの？

女３ こたつでアイスは常識だよ？

女２ どんな常識よ？

　男１ もういいんじゃない？

　女１ ルー入れるよ

女３ アイス食べるー？

　女１ 冷蔵庫に入れといて

女３ 分かった

女２ よくそんなの食べる気になるね

女３ いる？

女２ 遠慮しとく

 女３、退場。

　女３ あ、カレーっぽい

　男１ 当たり前だろ

 女３、登場。

　女１ そうだ、女３

女３ 何？

　女１ 女３、明日の昼ご飯、ハンバーガー５個ね

女３ 分かった。……何で？

女２ 聞かない方がいいよ

女３ 何で？

女２ 聞いちゃだめ

　男１ これ入れるの？

　女１ うん、スプーン一杯

　男１ これ何？

　女１ かくし味

　男１ 賞味期限大丈夫か？

　女１ 大丈夫大丈夫

　男１ まだ生っぽいけど

　女１ これ皮剥いて

　男１ おう

　女１ うおっ、まだ生きてる

　男１ だろ？

　女１ 死んでもらいます

　男１ ことこと煮込むー

　女１ 後はこれだな

　男１ 何か臭くないか？

　女１ よし、こうだ

　男１ ウィーン、バリバリバリ

　女１ セロテープある？

　男１ はい

 間。

　女１ はっはっは！

　男１ 蓋しとくぞ

　女１ おう

 男１・女１、登場。

女２ 何やってんの？

男１ カレー作ってんの

女２ 嘘つけ

女３ 帰っていいかな？

女１ 逃げるな

女２ 何食べさせる気なの？

男１ カレー

女２ あの会話のどこがカレー？

女３ 私、帰る

女１ 大丈夫だって、絶対おいしいから。ね？

男１ ……うん

女３ 帰るー

男１ そんなに心配なら味見してきたら

女２ そうする

女３ 私も行く

 女２・女３、退場。

 女１は男１にゼスチャーで指示を出す。女１はこたつに座る。男１はこたつに潜り込み、女１の反対側に足だけ出す。

 女２・女３、登場。

女２ あれ、女１、足伸びたの？

女１ 伸びたよ

女２ 気持ち悪い

女３ え、すごい

女１ すごいでしょ

女３ 男１は？

女１ 知らない

女２ これ、女１の足なんだよね

女１ そうだよ

女２ じゃあ叩いたら痛いよね

女１ そうだね

 女２は男１の足を叩く。

男１ 痛い

女１ 痛くない

女２ 痛くないの？

女１ 痛くない

男１ 痛いよ

女３ 男１の声が聞こえる

 女２は男１の足を叩く。

男１ 痛い

女１ 痛くない

女２ 痛くないの？

女１ 痛くもかゆくもない

男１ 痛いし暑いぞ、ここ

女１ こたつの中は暑いに決まってるでしょ

 女２は男１の足を叩く。女１も男１の足を叩く。

 男１はこたつから出てくる。

男１ 痛いよ

女１ だろうね

男１ 何でお前も一緒になってやってんの？

女１ おもしろそうだったから

男１ ふざけんなよ

女２ 元々男１がふざけてたんでしょ

男１ 女１がやれって言ったんだよ

女１ 言ってないよ。こういう動きをしてただけだよ

男１ ふざけんなよ

女３ 男１、そんなところにいたの？

男１ うん

女３ 何で？

男１ ユーモアだよ

女３ 何が？

男１ 誰か女３に説明してやって

女１ こいつもバカってことだよ

男１ お前もだろ

女２ どっちもバカだよ

女１ バカって言うな

女２ あ、あのカレーって結局何が入ってるの？

女１ 内緒

女２ 教えてよ

男１ 絶対言わない

女２ 何でよ。何が入ってるか分からない物なんか食べられないよ

男１ 別に普通だよ

女２ 本当に？

男１ どうだった？

女３ おいしかった

女１ ごはんまだ？

女２ まだ炊けてないよ

女１ これ炊いたのいつだっけ？

男１ 買い物から帰って、六時半過ぎ

女１ 今は？

女２ 七時二十二分

男１ そろそろ炊けてもいいんじゃない？

女１ まじ？

女２ これ、あと何分って表示出ないの？

男１ それ壊れてる

女３ 量が多いと時間かかるんじゃない？

女２ 何合炊いたの？

男１ 六合

女２ 多くない？

女１ 女２、二合くらい食べるでしょ

女２ 食べないよ

男１ たくさん炊いたんだけど

女１ おかしいな

女３ 壊れた？

女１ 不吉なこと言わないでよ

女２ 壊れたかも

女１ だからそういうこと言わないでよ

男１ 壊れたか

女１ ふざけんなよお前

女３ 炊けるとランプの色、変わる？

男１ うん、多分

女２ もう炊けてていい時間なんでしょ？

男１ 多分

女２ 開けてみる？

女１ やめて

女２ 何で？

女１ 炊けてなかったらどうするの。おかゆにカレーかけて食べるの？

女２ 開けてみないと分かんないでしょ

女１ 開けたら手遅れになるでしょ

女３ お腹空いた

女１ 多数決で決めよう。炊けるまで待った方がいいと思う人

 女１は手を挙げる。

女１ 今開けたいと思う人

 男１・女２・女３は手を挙げる。

女１ じゃあ炊けるまで待ってよう

男１ おい

女１ 少数意見尊重しろよ

女２ 黙れ

女３ 開けるよ

女１ やめろ、ダメだって。あ、ちょっと待って

男１ 何？

女１ 福神漬け買ってない

男１ 要らないだろ別に

女１ 要るでしょ

女２ 要らない

女１ 何でよ、カレーには福神漬け要るでしょ

女３ 要らない

女１ てめえら

男１ 要るなら勝手に買ってこい

女１ おう。要るから勝手に買ってくる

女３ 早口言葉みたい

女１ 炊けても勝手に食べるなよ

男１ それはできない相談だな

女１ 食ったら殺す

女２ コンビニ行くの？

女１ ああ

女２ 私も行く

女３ 何で？

女２ ジャンプ読みに

女１ 今週のジャンプは

女２ 内容言ったら殺すよ

男１ 気を付けてな

女２ 二人はどうするの？

男１ 寒いからパス

女３ 寒いからパス

女１ アイス食ってる奴が寒いとか言うな

女３ こたつはあったかいからいいの

女２ すぐ戻ってくるから

女１ 炊飯器見張ってて

男１ 見張ってどうなる

女１ 炊けるように念じてて

 女１・女２退場。女３は炊飯器を見つめている。

男１ 何してんの？

女３ 念じてるの

男１ それは意味ないよ

女３ うん

男１ あいつ本当にバカだな

女３ かわいいよね

男１ かわいいか？

女３ かわいいよ

男１ そうかな

女３ 男１は女１と女２とどっちが好きなの？

男１ は？

女３ どうしたの？

男１ 何その質問

女３ 違うの？

男１ 違うよ。何にもないよ

女３ そうなの？

男１ そうだよ。だって、でないとこんな風に家に来たりしないだろ

女３ 男の子の家に女の子が遊びにくるってあんまりないよね

男１ それ今更言う？

女３ 女１もかわいいけど女２もかわいいよ

男１ 何でその二択なの？

女３ 何で？

男１ 女３だっているだろ

女３ 私？

男１ なし。この話、終わり

女３ うん

男１ 炊飯器、開けてやろうかな

女３ え、ダメだよ

男１ 開けてやる

女３ ダメだって

男１ 開けるぞ

女３ ねえ

男１ あ

女３ 何？

男１ 炊けた

女３ 本当だ

 男１、炊飯器の蓋を開ける。

女３ おいしそう

男１ よし、食うか

女３ ダメだよ、二人が帰ってくるまで待ってなきゃ

男１ 真面目だな

女３ 迎えに行こうよ

男１ 嫌だよ、寒いのに

女３ ほら、行くよ

男１ 仕方ないな

女３ 私は選択肢に入るんだ

男１ 何か言った？

女３ 何でもない

男１ 寒いだろうな

女３ 高校卒業して、大学生になっても、こうやってみんなで遊んだりするのかな

男１ さあ？

女３ 十年後も二十年後もこうやって集まったりするのかな？

男１ さあ？

女３ そうなったらいいね

男１ どうしたの？

女３ 私も選択肢に入るから、これからもよろしく

男１ え？

 女３、退場。

男１ あ、おい

 女３、登場。

女３ 雪が降ってる

男１ マジ？

女３ 早く

男１ あ、ちょっと待てよ

 女３・男１、退場。

 終わり。